

MILANO BUILDERS

建物の完成は
その後の長い
付き合いの始まり



人との信頼関係を
大切に成長する
ミラノ工務店

工事部 川嶋 文雄 さん

営業部 熊谷 大志 さん

こんな建物をつくっています



一保堂茶舗



ホテルグレイスリー 京都三条南館



同志社 栄光館

建築やものづくりに興味のある人、
働きやすい環境の優良企業



和気あいあいとした職場で、わからないことは相談しあえる環境だ。

社名の由来
昭和2年4月に小崎修、田中定次郎の共同経営により小崎・田中工務店を創業、昭和4年に鍋田健三郎が共同経営者として入社。昭和5年に創業者の一人小崎修と懇意であった、当時の京都帝国大学学務部長（のちの京都工芸繊維大学学長）大倉三郎氏が、3名の共同経営者の（三）と美術物（立派な建物）を心がける願いをこめて、美術建築の都市ミラノの地名にちなんでミラノ工務店と命名されました。



株式会社ミラノ工務店

京都市中京区夷川通河原町東入 鉾田町310番地
075-231-0177(代)
http://www.milano.co.jp/
設立: 1927年4月
主な事業内容: 土木建築工事請負業、建築設計監理業
従業員数: 55名



JOB INFORMATION

正社員募集

『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募ですとお伝えください。

2019年3月 建築・土木系学部
大学卒業見込 卒業生歓迎

※2019年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2018年6月1日以降に選考解禁します。

技術職
【内容】現場管理
【応募資格】2019年3月に大学卒業見込の方(建築・土木系学部)
【初任給】210,000円、昇給年1回、賞与年2回
【勤務地】京都
【休日】週休2日制、祝祭日、年末年始、お盆休み
【諸手当】通勤手当、職務手当、資格手当 等
【連絡先】まずは一度電話かメールでお問い合わせください。
075-231-0177(採用担当) / info@milano.co.jp

家具・建具屋街として知られる京都・夷川通沿いに社屋を構えるミラノ工務店は、京都大学をはじめ、学校、庁舎、商業施設、病院施設などの施工や修復、リノベーションを手がける総勢55名の会社だ。スーパーゼネコンのような大手建設会社とも、町の小さな工務店とも違う中堅で、長い付き合いの顧客が多く、京都では知る人ぞ知る建築会社だ。1927(昭和2)年に創業して今年で90周年。

地元からの信頼も厚く、建築・都市デザイン分野で多くの関係者から高い評価を得ている。

同社をつくるチーム(工事部)と売るチーム(営業部)の呼吸は合っている。各部の2人に仕事のおもしろさについて取材した。

建築はモノではなくヒトが相手
つくるチームを率いる工事部部長の川嶋文雄さんは京都生まれ。入社32年決めた。

サッカーが好きで訪れたドイツで見たパウハウスの建築は好きだったが、それ以上ではなかった。建築の知識はゼロで入社した。

「入社直後は、先輩たちがなにを話しているのか。日本語なのに、言っていることがわかりませんでした。」

しかし、研修でホテルの建築現場に1年間通ったときに、建物が一から出来ていく様子に感動した。図面の見方もわかるようになり、おもしろさに見えた。

今は先輩社員のサポートをしながら、営業先を回る。熊谷さんは目を輝かせながら話す。

「行くたびに『ミラノ工務店さんだから頼む』というお客様が多くて、人とのつながりを大切にしている会社だと感じます。もっと経験を積んで、いざ先輩方のように、自分で交渉でき

で社内でも最も信頼されるベテラン技術者だ。関西大学で建築を学び、地元で就職したいとミラノ工務店を選んだ。働き始めて意外だったのは、建築はモノを相手にする仕事だと思っていたのに、実際は人とのかわりが重視される点だ。

「工業製品の生産の場合は、図面がすべてです。でも、建築では、図面に乗らない情報が大切。施主と相談しながら、建物を作り上げていく。こちらの問いかけ次第で、顧客の要望を的確に引き出せることもあるし、漠然としたイメージを具体的ななかにできることもあります。思っていた以上に人を相手にする仕事でした。」

壁材一つとっても、見本帳に貼ったサンプルと、施工して壁面に貼ったときとは印象が違うため、クレームが入るときもある。顧客の気持ち想像して、顧客が望む以上の提案をしていくコミュニケーションが最もむずかしいが、やりがいもある。

川嶋さんは、ミラノ工務店きっての技術者だ。仕事で最もうれしい瞬間は「担当者が川嶋さんでよかった」と感謝されるときだ。

人と人とのつながりを大切にしています
一方、売るチーム、すなわち営業部の若手社員である熊谷大志さんは、途中入社して2年目の25歳。京都文教大学の総合社会学部出身。将来性のある職場を求めて、ミラノ工務店に転職をしようになりたいです。

「信頼で仕事が続いています」と川嶋さんが語るように、既存の得意先が多いのはミラノ工務店の大きな強みだ。また設計事務所からの施工依頼も多く、全体の6〜7割にも及ぶのは、工事の技術力を買われてのことだ。

実際、建物は建てて終わりではない。完成後も、電気の故障修理、クロスの張り替えなどの細かなメンテナンスが続く。そういった小さな仕事を大切にすることが、遠い将来の改修工事や建て替えに結びつく。竣工は終わりではなく、信頼関係に基づく長い付き合いの始まりなのだ。

「建築したらおしまい」の建築会社も多いが、ミラノ工務店はその点が大いに違う。人間関係もよく安定して成長を続ける企業であり、地元からの多大な信頼をバックにした、ミラノ工務店は有望株だ。